



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7:00
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌週土曜日 午後4:00

2017年10月号ブリテン 第327号

2017-2018年度主題(Theme)

IBC: 台北ユニオン DBC: 東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う
「ともに、光の中を歩もう」 (ノルウェー)
「ワイズ運動を尊重しよう」 (台湾)
「広げよう ワイズの仲間」 (熱海クラブ)
「あずさ部はっと活かそうぜ！」 (東京西クラブ)
「ケ・セラ・セラ」で行こう

会長 江原 修一
副会長 小山 憲彦
書記 長津 徹
会計 柴田 弘子
直前会長 御園生 好子
担当主事 大津 桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Henry Grindheim
アジア会長 Tung Ming Hsiao
東日本区理事 栗本 治郎
あずさ部部长 大野 貞次
サンライズ会長 江原 修一

10月第一例会のお知らせ

とき 10月12日(木曜日) 19:00~
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ 500円
とうばん (巻組) 小山(久)、内迫、菰淵、立田、長津

◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	会長
卓話『政局をにらんで』 拓殖大学教授	大谷博愛さん
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
ハッピーバースデー	会長
テイasting・タイム	一同
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で
伊丹亭 21:15~

10月以降の予告

10月21日(土) あずさ部部会	東京西クラブ	11:30~
10月24日(火) 第二例会	山手センター	19:00~
11月 9日(木) 第二例会	山手センター	19:00~
11月21日(木) 三クラブ合同例会	山手センター	18:30~
12月 2日(土)~3日(日)	山中クリスマス	13:00~
12月16日(土) 第二(お散歩)例会	銀座の裏路地	12:00~

9月第一例会報告

内迫 裕さん

9月14日(木) 9月第一例会のライブ中継・紙面版
19時10分江原会長の力強い開会宣言により例会がスタート！
ワイズソングを全員で歌う。実はこのワイズソングの原曲は、シベリウスの交響詩フィンランディアという曲なのです。ご存知でしたか？いつ聴いても心が洗われるメロディです。

参考音源(<https://www.youtube.com/watch?v=HN31xuYucfE>)
さて、今回のゲストスピーカーは、参遊會の小野田繁さんです。卓話「消防団の活動について」
まず、最初にこのタイトルを見て思ったのが消防署と消防団の違いは何だろう！ということ、そして、消防団はどのような人が携わっているのだろうということです。早速、消防団団長の小野田さんの自己紹介からスタート。 【次頁へ続く】



10月のハッピーバースデー

5日 小山 憲彦 さん
24日 柴田 弘子 さん
27日 深田 晶也 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

9月例会出席者

在籍 (内広義会員 3名)	15名
メン	11名
メネット・コメット	1名
ゲスト・ビジター	2名
出席率	83%

●9月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg) ●ニコニコ：11,754円(累計：11,754円) ●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)

本日誕生日のホカホカの39歳。現在は、自営業の造園を家族と営んでいる。昨年までは、旅行の添乗員を行っていたそうです。

ここから消防署と消防団の違いを詳しく説明。消防署員は、地方公務員で消防団員は、特別地方公務員になる。消防団は、全国に2,200団の組織と86万人の団員が活躍している。消防団員も年間にすると20万円ほどの手当てがいただける。しかし、いつ起こるかもしれない24時間体制の出動と体育会系の訓練の日々でいつも人手が足りない現状を報告されておりました。そのようなところでどうして入ったのですかと質問すると、先輩から進められて、「はい」か「Yes」しか返事ができないと超べりな関係があるとのこと。地元の自営業の方が多いのもうなずけます。しかしながら14年間も我々市民のために活動をしてきていただいているのも事実です。地域の安全と消防活動を第一に考えて行動していただいているからこそ、我々は安心して生活できているのだと実感いたしました。



そのあとハッピーバースデーは、江原会長と卓話の小野田さん。おめでとうございます。

終了後は、伊丹亭で「本音で語ろう会」が始まったのは言うまでもありません。

実況終わり！お疲れさまでした。

出席者：江原会長、内迫、小山(憲)、小山(久)、河野、菺淵、柴田、菅原、長津、御園生、大津主事、小野田さん(卓話者・参遊會)、神谷さん(東京西)

移動して、九品仏・淨真寺の九つの仏像を眺めながら広い敷地内を散策。自由が丘まで細い路地を歩き、16時に内迫さん、江原さん、柴田さんの待つ自由が丘駅前に到着した。内迫さんおすすめの店「てっぺん」に向かって自由が丘デパートの一階を見学しながら移動する。長津絹子さんが合流。

17時過ぎ、「てっぺん」ではお店の従業員の方たちの朝礼(夕方なのに朝礼)に私達も参加した。店長のかけ声に合わせて、気持ちを込めて「現在、十年後、二十年後の願い」を一人ずつ腹式発声法で叫ぶという、ものすご〜い朝礼だった。その後、第二例会は、プリテンの執筆者を決めることを中心におこなわれた。朝礼の勢いとおいしいお酒と料理を堪能したことを報告して、この先は夢見心地となりましたので筆をおきます。



【九品仏山門】

【九品仏本堂】



【てっぺん 打ち上げ終了】

第31回東京YMCAチャリティーランに参加

菺淵光彦

9月23日(土・祝)の第31回東京YMCAチャリティーランは、前日予報の「午前中まで雨が残る。」という予想が好転、東京YMCAのウェブサイトでも開催決定がアナウンスされ、順調に開催準備が進み、全てのプログラムを無事に行うことができました。東京サンライズクラブからの参加は会員部チャリティーラン実行委員会に所属する私だけで寂しいものがありましたが、次回からは模擬店を出すとかボランティアに参加するとか、もっと積極的にチャリティーランに参加することで、楽しいクラブライフと他クラブ交流を推進してゆくことを検討いたしましょう。以下、公式発表の記録です。

- ・こどもラン 幼児～小学生450人 保護者を合わせて約700名
- ・本競技 48チーム ランナーと伴走者で約300名
- ・ボランティアとスタッフ 170名
- ・応援の方々を入れると 合計 約1500名の来場者でした。

なお、評価会が10月16日(月)に行われ参加いたしますので、またご報告致します。

9月第二(お散歩)例会

菺淵光彦

第二お散歩例会は9月26日(火)、昼12時に東急大井町線等々力駅改札口に集合(当初集合は上野毛駅だったが変更)、まずは、定例の腹ごしらえをするために、駅から1分の「やぶ森」に入った。最初に集まったのは小山(憲)さん、長津さん、御園生さんの3名だった。私は渋谷から等々力行きバスに乗り、20分遅れで合流した。このお店は、だし巻き卵をはじめとおつまみが豊富なおそば屋さんでお酒も美味しく、たっぷり時間をかけておそばをいただいた。

その後、駅前のゴルフ橋の袂から、等々力溪谷において清流の流れる音色を聞きながら、都心ではまれにみるこの静けさのなかを散歩した。不動の滝、甘味茶屋「雪月花」などをみながら一キロばかりの自然溢れる小道の先には長い階段があって、その上には等々力不動尊があった。寺の外は世田谷区の住宅街で現実に戻ってしまうので、いま来た小道を等々力駅まで戻ることにした。等々力駅からは東急大井町線で九品仏(くほんぶつ)駅まで

東広島クラブ 谷本秀康さん

東広島ワイズメンズクラブは、毎年東広島YMCAで開催されるバザーを支援しています。東広島YMCAは、昨年西条プラザから隣接するサンスクエア東広島4階に移転しました。施設内は、火気厳禁であることから一昨年まで好評であったワイズの餅つきの準備、実践、販売ができなくなり、昨年から前日に準備して対応することになりました。今年も例年通り元メンバーの加藤直樹さんの主導で、ご自宅の倉庫で餅つき作業を行いました。東広島クラブのメンバーは、財満ワイズと稔子メネットと谷本の三名しか参加できなかったため、元メンバーの三枝淳子さん、河野百合子さん、西田昌弘さんにお手伝いをお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。9月23日(土)13:00に加藤さん宅に全員集合。谷本と西田さんは、不慣れな餅つきに四苦八苦でしたが、加藤さんと財満ワイズは、手馴れたもので六臼の餅米がつき上がると、直ちに加藤さんの奥さん、三枝さん、河野さんの女性陣が手際よく丸めて平餅、餡餅、よもぎ餅が次々にできあがりました。お餅を丸める作業には、男性陣も加わって昔話と世間話に花が咲き17:00前には全ての作業が終わりました。元メンバーと久しぶりに旧交を温めることが出来て本当に楽しい一日でした。

今月の京都プリンスクラブ Vol. 69

京都プリンスクラブ 廣井武司さん

9月第一例会は京都部部会、昨年ホストクラブとして頑張っていたことを思い出します。もう1年たったのですね。今年も449名の登録で盛会でした。ただ座席がバラバラでクラブのメンバーとゆっくりと話せませんでした。その分他クラブのメンバーとの交流がもてました。第二例会はクラブのメンバーでもあるYMCAの藤尾連絡主事からこの10月にスタートを切る新体制について、ブランディングの関してのスピーチをしてもらいました。

9月の16~17日に京都YMCAとプリンスクラブが主催で計画していた「ファミリーキャンプ」夏休みに家族で遊びに出かけられなかった皆さんのためのプログラム。たくさんの参加が予定されていたのですが台風接近のため中止になってしまいました。せっかく楽しみにしていた事業だったのに…また来年リベンジします。

強調月間：EMC-E

地域奉仕委員会

EMC=Extension, Membership & Conservation

(クラブ拡張、会員増強、維持啓発)

Eはクラブ拡張、つまり新クラブを設立すること。MCは会員増強と維持啓発、つまり新会員の獲得、会員意識の高揚をはかること。いずれもワイズメンの運動を直接拡大強化する事業であり、リーダーたる者の絶えざる課題です。

ワイズ永遠の課題である新会員の獲得に当たって最強の方法は「新クラブ設立」です。間もなくクラブ設立30周年、周年行事を目途に、子クラブの設立を考えてみませんか。

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

- 9月16日、国際協力一斉街頭募金が新宿駅周辺で実施され、会員、メンバー、学生、リーダー、ワイズメン、職員など186名が街頭で支援を呼びかけた。当日寄せられた募金215,717円は、バングラデシュの子ども達の教育支援、及び今夏の大きな洪水で被害を受けたバングラデシュの被災者支援に用いる。
- 9月23日、「第31回インターナショナル・チャリティーラン」が都立木場公園で開催され、48チーム、約300名のランナーが競技に参加した。子どもたちやボランティア、スタッフを含め、当日は1500名が参加。多くの企業から協賛をいただき、江東区内の福祉施設もパン等を販売するなど、拡がりのある大会となった。益金はYMCAが行う障がいのある子ども達を支援するプログラムのために用いられる。
- 全国のYMCAでは「YMCAブランドの再生」を求めて、6月にブランドコンセプトを発表し、その表出に向けて準備を進めてきた。10月1日からは、飛び立つ鳥をイメージした新しいブランドロゴ(愛称「ポジティブY」)とスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」を軸とした新しいコンセプトを、全国YMCAが連携して広く社会に向けて発信していく。今後2019年までに順次、看板、印刷物、ホームページなど、新しいロゴマークに変えていく予定。
- 感謝
木村洋行株式会社より 九州北部豪雨緊急支援募金として200万円、熊本大震災復興支援募金として150万円のご寄付をいただいた。Committee of The MATSURI (フロストバレーYMCA関係)より、熊本大地震復興支援募金、及び東日本大震災復興支援募金として、合計214,840円のご寄付をいただいた。
- 今後の主な行事予定
 - 第34回会員ソフトボール大会
10月9日 (出版健康保健組合大宮運動場)
 - liby・高等学院チャリティーコンサート
10月21日 (日本基督教団渋谷教会)
 - YMCA・YWCA合同祈禱週礼拝
11月16日 (社会体育・保育専門学校)
 - ソシアス2017(会員親睦・協議会)
11月25日 (江東YMCA幼稚園)

山中湖センターだより

今月は休載します。

編集後記

今月は大忙しのワイズライフでした。月末のお散歩例会、富士山五合目の合同例会、DBC東広島訪問に続くローカル線の旅。さすがに疲れました。報告は11月号ブリテンで。(Non.O)